



古代より受け継がれてきた東洋思想が育むウェルネスブランド
「どう」を発表
12月15日(火)公式ウェブサイトにて販売開始

株式会社エッジオフィス（本社：東京都渋谷区、代表取締役：松尾美里）は、このたび、東洋哲学の基礎である陰陽説を取り入れた新ブランド「どう」を発表いたします。2020年12月15日(火) 13:00より、公式ウェブサイト内オンラインストアにて販売を開始いたします。

「どう」は陰陽説に基づく養生文化を暮らしに取り入れて、健康な身体、美しいところを取り戻すことを提案するウェルネスブランドです。慌ただしい現代を生きる人々が心身と向き合い、本当の豊かさを感じられるライフスタイルを送ってほしいとの願いから、オリジナルの製品を開発、販売するほか、アーティストとのコラボレーションなど、さまざまなプロジェクトを企画してまいります。

ブランドのデビューを記念し、第一弾として販売するのは、爪を健やかな状態へと導くケアオイルと、肌の調子をととのえて心に安らぎをもたらす入浴料としても使用できるボディスクラブ。いずれのアイテムも「補 ho(=陽のエネルギー)」「瀉 sha(=陰のエネルギー)」の2タイプからお選びいただけます。すべての製品には伝統的な養生のレシピのもとに厳選した和漢植物エキスが含まれています。LAを拠点に活動する中国系アメリカ人アーティスト、Fong Min Liao(フォン・ミン・リャオ)とのコラボレーションによる初回限定パッケージにもご注目ください。

どう公式ウェブサイト ([www .dojapan.jp](http://www.dojapan.jp))



どうについて

例えば、月と太陽、プラスとマイナス、男性性と女性性。あらゆる事象や万物は陰と陽、つまり、相反する二つの性質をもっています。

古代中国の思想であり、東洋哲学の基礎でもある「陰陽説」は、陰と陽が調和することによって、世界は保たれているという理論です。

わたしたち人間の身体においても、陰と陽のバランスが保たれている状態が健康であり、バランスが崩れると病気になるやすいと考えられています。

「どう」はこの陰陽説に基づく養生文化を暮らしに取り入れて、健康な身体、美しいところを取り戻すことを提案するブランドです。

名前の由来

「どう」のネーミングは、陰陽五行説の柱となっている五元素のひとつ「土」に由来しています。

土は、循環させる、有機物を誕生させるという、非常に重要な役割をもっています。また、プラス(+)とマイナス(-)が縦に組み合わさった漢字、という見方もできます。

粘土を足したり削ったりしながら形づくっていく彫刻のイメージに、東洋哲学の基本概念である足し引きの法則をなぞらえ、パン生地、柔らかいかたまりといった意をもつ英語「dough」から音の響きを採用しました。





製品について

気持ちいい、だからまた使いたい。スティックに頑張るのではなく、「どう」のある日常で、ほっとくつろぐ感覚を。それが「どう」が提案する、これからの時代にふさわしい健康法であり、美容法です。

すべての製品には、伝統的な養生のレシピのもとに厳選した和漢植物エキスが含まれています。

どうシグネチャーシリーズは以下2つのプロダクトラインを軸にしています。

瀉sha：滞っている不要なものを注ぎ流すこと。

補ho：足りないものを補って十分な状態にする。

製品名：どうシグネチャーネイルオイル&キューティクルオイル

種類：全2種（瀉sha / 補ho）

内容量：30mL

価格：4,800円 + 税

ビタミンやミネラルなどの栄養素が豊富な玄米から抽出したコメヌカ油と、平安時代より美容のお手入れに重宝されてきた椿油。古くから日本人に親しまれてきた二種のオイルが、輝きあふれるしなやかな爪へと導きます。

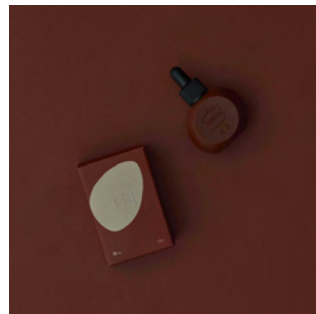
製品名：どうシグネチャーボディスクラブ&バスペースト

種類：2種（瀉sha / 補ho）

内容量：600g

価格：7,600円 + 税

海、太陽、そして風のエネルギーから生まれた海塩と、先人をも魅了し続けてきた植物の力をたっぷり配合した、入浴料としても使用できるボディスクラブ。



瀉sha：皮膚や爪のトラブルが起りやすい指先は、爪の周りをマッサージして血の巡りをよくしてあげて。「陰」の要素をもつほんのりスモーキーで土のような香りが、深く湿った森の奥にいるかのような、悠然とした安心感をもたらします。

補ho：忙しい日々のなかでも常に美しい指先を保つには、爪がもつ本来のパワーを引き出してあげることが大切です。「陽」の要素をもつミステリアスな香りと甘さと温かみのある香りが溶け合い、心をふんわりとした幸福感で包み込みます。

瀉sha：リフレッシュしたいときのバスタイムには、「陰」の要素を取り入れて、要らないものを除去することが肝心です。滞った気を循環させて、肌も心もすっきりと澄み渡らせて。

補ho：しっかりとした安定感がほしいときのバスタイムには、ゆったりリラックスすると同時に、ストレスに負けない強さを補ってあげたいもの。「陽」の要素で、心をポジティブに勇気づけて。

石菖蒲（セキショウブ） / ベチバー / ティーツリー / 麦藁菊（ムギワラギク） / 甘松（カンショウ） / 目簪（メボウキ） / 椿（ツバキ） / 稲（イネ） / 胡麻（ゴマ）

黄檗（オウバク） / 没薬（モツヤク） / 迷迭香（マンネンロウ） / オニサルビア / パルマローザ / 椿（ツバキ） / 稲（イネ） / 胡麻（ゴマ）

金銀花（キンギンカ） / 石菖蒲（セキショウブ） / 本緑壇（ホンリョクダン） / シベリアモミ / 檜葉（ヒバ） / 杜松実（トショウジツ） / シダーアトラス

当帰（トウキ） / 蘇葉（ソヨウ） / 黄檗（オウバク） / 生姜（ショウガ） / 藿香（カッコウ） / 天竺葵（テンジクアオイ） / コリアンダー / 芳樟（ホウショウ）



アーティストとのコラボレーション

慌ただしい現代を生きる人々が心身と向き合い、本当の豊かさを感じられるライフスタイルを送って欲しいという願いから、「どう」はアートの世界とのつながりも大切にしています。

ファーストコレクションのパッケージを手がけたのは、LAを拠点に活動する中国系アメリカ人画家、Fong Min Liao (フォン・ミン・リャオ)。
※ Fong Min Liaoパッケージは数量限定、なくなり次第終了。

今後も、国内外の気鋭のアーティストとのコラボレーションによる限定パッケージを展開するほか、さまざまなプロジェクトを予定。

香りについて

「どう」のアイテムの調香を担当しているのは、ドイツのベルリンで調香師・セラピストとして活躍する日本人、RYOKO。

香りの原料の歴史や古代の人々の香りの使い方に敬意を払いながら彼女が丁寧に紡いだ、現代のわたしたちにふさわしい有機的な香りが、バランスの取れた暮らしをサポートします。



【本件に関する問い合わせ先】

株式会社エッジオフィス
東京都渋谷区神山町3-3 T's Green 渋谷神山 201

Mail : enquiries@dojapan.jp

Instagram : @dojapan.jp

Website : www.dojapan.jp